インタビュー動画はこちら

主体的な学びが未来をつくる

中学校3年生　生島　希空

九州文化学園中学校の学習環境に大きな魅力を感じています。英語教育やIT教育、日本文化教育の学びを通して、将来に必要な力を身に付けることができています。

教科ごとに専用の教室に移動して学ぶ「教科センター方式」では、毎回新鮮な気持ちで授業に取り組むことができ、よりアクティブで主体的な学びが自然と育まれています。

今年も海外への修学旅行が予定されており、日々の学びを実際に生かせる機会があることに、今からとてもワクワクしています。

私は将来、グローバルな視野をもった先生になることを目指しています。その夢に向かって努力できる環境が、ここにはあります。この学校で学べて本当によかったと心から思っています。

インタビュー動画はこちら

成長する喜びを感じられる学校生活

小学校6年生　石川　真子

この学校でたくさんの成長を実感しています。英語の授業や日常英会話を通して、自主的に英検に取り組んだり、英語の本を読んだりするようになりました。

また、茶道やITなどの他の学校とは異なる、特徴のある教科を学んで様々な経験を積むことができます。高学年になると普段の授業を通して実技試験や発表もあるため、一生懸命頑張っています。

さらに、クラスメイトや先輩、後輩との関わりでは、優しくて、面白いクラスメイトと協力して学習したり物事に取り組んでいます。頼りになる中学生の先輩方がいて、自分たちを頼りにしてくれるかわいい後輩がいて、とても楽しい学校生活を送っています。

九文小学校に来てたくさんの優しい人たちに恵まれてとても幸せだなと感じています。この学校でたくさんの経験を積み、今後に生かしていきたいです。

Kyubun Style Uniform

小学校

中学校

おしゃれで
機能性にも優れた
こだわりのブランド
自分らしいコーディネートが
1年中楽しめます。

リュックブランド
STD STANDARD SUPPLY

制服ブランド
FUJITO

小学校も中学校も
ICT活用!

「本校独自のタブレット」には **大きなメリット** があります。

デジタル教科書・ロイロノート・AIドリルを授業の中で効果的に活用して授業を行います。

メリット1　児童生徒の意見や考えを教師が一括把握

授業支援ソフトにより、児童生徒の意見や考えを一括把握することができ、生徒の能力に合わせて、より効率的で効果的な指導を行えます。

メリット2　児童生徒は教師に即時個別に質問可能

校外学習など教師に質問しづらい状況でもタブレットでやりとりを行い、児童生徒はスピーディに問題を解決することができ、習熟度も高まります。

メリット3　リモートで授業に参加可能

休校時でも、リモートで授業に参加可能。授業の遅れのストレスが解消されます。

教育費

小学校

- 授業料　28,000円/月
- 教育充実費　13,000円/月
- 給食費　6,000円/月

中学校

- 授業料　30,000円/月
- 教育充実費　13,000円/月
- 給食費　7,000円/月

小学校・中学校 兄弟姉妹割

※下の子を割引とする。

	小学校	中学校
授業料	14,000円	15,000円
教育充実費	6,500円	6,500円
給食費	6,000円	7,000円
合計	26,500円	28,500円

兄弟姉妹で同時に在籍する期間に限り割り引きする制度です。

Open School　九文オープンスクール

7/12(土)・8/2(土)・9/6(土)

※詳細はホームページをご確認ください。

小学校入試

新1年生
第1回 令和7年 11/1(土)
第2回 令和8年 1/17(土)

編入／新2・3・4・5・6年生
令和8年 1/17(土)

中学校入試

新1年生
適性検査 令和7年 11/29(土)
第1回 学力検査 令和7年 12/13(土)
第2回 学力検査 令和8年 2/7(土)

編入／新2・3年生
令和8年 2/7(土)

進学実績 ※累計

主な進学先

佐世保工業高等専門学校	8名	佐世保西高等学校	6名
早稲田佐賀高等学校	2名	佐世保南高等学校	5名
青雲高等学校	1名	佐世保北高等学校	3名

九州文化学園高等学校24名　その他、県立14名　私立16名　インターナショナル1名

系列校の九州文化学園高等学校にハイレベルなクラスもR4年度に新設されました。

国公立大学や有名私立大学への進学をめざす
普通科 Sアカデミーコース

国際社会で活躍するグローバル人材を育成する
普通科Sグローバルコース

本校は「JAET学校情報化優良校」の認定校です。

九州文化学園小学校
九州文化学園中学校
〒857-0024 長崎県佐世保市花園町10-1
TEL 0956-37-8100
FAX 0956-37-8200

WEB

Instagram

ELEMENTARY SCHOOL &
JUNIOR HIGH SCHOOL GUIDE
2026

Kyubun

九州文化学園小学校
九州文化学園中学校

学校情報化優良校 JAET

私立だから、総合学園だから実現できる理想の先端教育

九文の3つの柱

1 英語教育

ダイバーシティ社会で真の国際人としてグローバルに活躍できるスキルを習得

低学年は週に4時間、3年生以上の学年は週に5時間、中学校の授業時数は、中1から中3まですべて、日本人の先生による教科書ベースの授業が週5時間、ネイティブの先生による授業が週2時間です。世界の共通語である英語を学ぶことで、広い視野を持ち、未知の扉を開き、今までにないチャンスを得ることができます。その学びは、共感する態度の育成、メンタルの柔軟性、問題解決スキルや経験に基づいた認識力の向上につながります。

英語

	授業時数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
小学校	本校	140	140	175	175	175	175	980
	学習指導要領(公立)	–	–	35	35	70	70	210

Luc Roberge 先生

本校では、1年生から英語学習を始め、9年間を通じて語彙・知識・スキルを段階的に育んでいきます。経験豊富で思いやりのある先生が、生徒一人ひとりの成長を丁寧にサポート。英語は教室内だけでなく、ELTとの日常的な交流や文化イベント、異文化体験を通じて、実際に使いながら学びます。自信を持って英語を使える力を養います。

※ELT(English Language Teacher)

こんなにも差があります！

英語学習時間

小学校 プラス 770時間　中学校 プラス 210時間

	授業時数	1年生	2年生	3年生	合計
中学校	本校	210	210	210	630
	学習指導要領(公立)	140	140	140	420

2 IT教育

ITに精通した指導者による実践的な授業。確かなスキルや論理的思考力が身につく

プログラミング的思考力を育てる 3つの力

1. 積極的に粘り強くチャレンジを続ける力
2. 常にベストな方法を確実に選び抜く力
3. 時代に求められるコミュニケーション力

ITの授業をカリキュラムに設定し、情報活用力を育む授業を展開します。コンピュータの基本的操作から始まり情報モラル、プレゼンテーション力を高め、子供たちのプログラミング的思考力の育成に力を入れ、未来を生きる力を育みます。

3 日本文化教育

茶道を通して学ぶ、おもてなしの心と日本文化への誇り

1. 自国の文化の素晴らしさを知り、グローバルな視野を持って他者とお互いを尊重し合えるように。
2. 総合学園ならではの大学との連携でかなえられる本格的な茶道の授業と体験を。
3. 総合芸術と言われる茶道を深く知ることを通して、優れた徳性と品格を育んでいく。

多様な価値観が存在するグローバル社会では、日本人としてのアイデンティティが求められます。そのため、九州文化学園が継承してきた武家茶道「鎮信流」を中心に、校舎内の茶室において「おもてなしの心」「相手を思いやる心」を育て、日本文化を学びます。

教科書の内容だけにとどまらない

最先端の学びで成長できる！

すべての教科において、

「アクティブラーニング」型の

授業を実施しています。

小学校 1年生 時間割例

	月	火	水	木	金
1	道徳	国語	国語	算数	英語
2	体育	生活	生活	茶道	体育
3	算数	算数	算数	生活	算数
4	音楽	国語	国語	音楽	音楽
5	英語	体育	図工	英語	IT
6	国語	英語	図工	国語	国語

小学5年生から始まる！

「みらい坂56」(放課後学習)

国語・算数・英語の教科の学びを自分のペースで学ぶ放課後学習

放課後(16:45～17:45)は、自分のペースに合わせて個人やグループで学習を進めていきます。内容は、百人一首、NIE(新聞を活用した学習)、検定対策(英語、算数数学、漢字)、アプリ等を使った学習などです。外部講師による専門的な学習や体育的な活動も毎週1回程度行っています。

中学校 1年生 時間割例

	月	火	水	木	金
1	道徳	体育	英語	数学	技術
2	国語	社会	体育	体育	English
3	社会	家庭	数学	理科	国語
4	美術	音楽	English	IT	英語
5	英語	理科	国語	国語	理科
6	茶道	数学	社会	英語	数学
7	英語	国語	学活	国語	体育
A-STEP					

不確実な未来を生き抜くための「確かな力」を！

探求的な授業と放課後探求学習「A-STEP」で自らの生き方を主体的に創造する力を育む

授業は全て45分で行います。(45分×7限)
各授業では、基礎・基本や活用の力を確かなものにするだけでなく、「広げる」「深める」という視点で探求的な学びにも取り組みます。英語検定や数学検定に向けての学習も行います。放課後探求学習「A-STEP」では、「得意を伸ばし、苦手を克服する」という視点で、一人一人が自らの学習を主体的にデザインします。学習のデザインには、自分が使いやすい手帳を選択し、活用しています。

Navima ナビマ

個別最適な学びを支援する「AIドリル navima」

子ども達の主体的な学びを実現し、自分のペースで学べる環境づくりを行っています。子ども一人ひとりに合った問題を出題し、解説や解説動画(おたすけ動画)を使って自分一人で問題を解き進める力を養います。

小学校・中学校

各教科の教育目標 カリキュラムはこちら！

国語

田中 祥子先生

国語の力は、すべての学習の土台となります。本校は、語彙力を高めるために、低学年より辞書引きをさせています。言葉の魅力・すばらしさがたくさん記載されているため、児童は辞書を引くことが大好きです。また、情報活用能力を育むために、小学生新聞を活用しながらNIEにも取り組んでいます。

算数

大山 博紀先生

算数では、以下の3つの力を育てます。まず「基礎力」では、数の概念や図形の性質をしっかり理解し、確実に学びます。「考察力」では、日常の事象を数理的に捉え、数学的に明確に表現します。「活用力」では、数学の楽しさを感じながら、算数を生活や学習に活かす態度を養います。AIドリルを通じて個別最適な学びを提供します。

保護者の声

小学校 Yさま

校舎の温かい雰囲気や先進的な学びに魅力を感じ、オープンスクールをきっかけに入学を決めました。入学後は先生方や上級生の温かな声かけに安心し、子どもは毎日楽しく通っています。プログラミングや英語などの授業も楽しみにしており、学びへの意欲も高まっています。通学バスや連絡アプリ、iPadを活用した授業、学童保育など、保護者としても安心して預けられる環境が整っていると感じています。

国語

髙山 幸子先生

国語は、全ての教科の「礎」と言われます。そして、社会生活においても「国語」はあなたを支える大切なパートナーです。国語の授業を通して、言葉がもつ価値を実感し、言語感覚を豊かにして、伝え合う力や思考力、想像力を高めていきます。

数学

田中 伴子先生

数学の授業を通して、論理的な思考力や問題解決能力を養い、未来においても活躍できる力を身に付けることを目指しています。習熟度に合わせたカリキュラムを展開し、生徒が主体的に課題に取り組むことで、自らの考えを深め、数学のおもしろさを体感できる授業を実践します。

理科

岡 楓子先生

理科は、日常生活と密接に関わる教科です。教科書の内容を学ぶだけでなく、身の回りの「なぜ?」を発見し、授業で学んだことを生かして「なぜ?」を解決できるようになることを目標としています。また、長崎国際大学や、佐世保工業高等専門学校などと連携して、より専門的な学びにも取り組んでいます。

社会

多久島 秀洋先生

ICTの活用で、多様な考えに気づいて、自分の考えに活かします。デジタル機器から資料を提示して学習内容への興味を高め、小学校高学年と中学校の学習内容を関連付けて、社会科への理解を深めます。

保護者の声

中学校 Kさま

入学を決めた理由の1つは「IT教育」です。本人がパソコンに興味があり、授業がある日は「楽しみ」と言いながら登校しています。学習面においては、先生方の子供たちを「伸ばす」ための取り組み、熱心さが伝わってきます。クラスも全員仲が良く行事ごとなども協力して取り組んでいる姿が見られて微笑ましく感じます。子供も楽しく通えており、ここに入学して良かったと思っています。

施設紹介

建物・家具等受賞

2019 GOOD DESIGN賞

2020年度 Popular Choice Winner 賞

9年間を通して、子どもたちを育む 小中一貫教育

1 一貫教育カリキュラムによる系統的な指導

義務教育9年間を見通した系統性のある学習カリキュラムにより、基礎・基本の学習内容を確実に身に付けさせ、「表現する力」「自ら学習に取り組む力」を育む指導を行います。
また、小学6年生と中学校の算数・数学、英語の学習では習熟度に応じた指導を行い、個々の学力を最大限に伸ばします。

2 小学校と中学校の教員の相互乗り入れ授業

授業では、中学校の教員が年間を通して、小学生に教科指導を行う「乗り入れ授業」を実施しています。特に小学6年生では、多くの教科で実施しています。また、中学1年の数学では、小学校教員も乗り入れ授業を行っています。

3 小学校で一部教科担任制を導入

小学校の授業では、中学校教員による教科指導だけでなく、小学校教員による教科担任制を実施しています。小学校と中学校の専科教員が、子どもの実態に応じて専門性を生かした指導を行っています。

新しい教室運営方式「教科センター方式」を導入！

よりアクティブに学ぶ中学生に

「教科センター方式」とは、生徒が授業ごとに教科専用教室に移動して学ぶ方式のことです。中学生棟に、各教科の専門教室を設け、生徒の主体的な学びを育む環境を設けました。また、学級集団の生活の場となる「Homebase(ホームベース)」を設置し、対話が自然と生まれる空間で自治的な学校生活が営まれています。